

白梅の織りなす歴史、つなぐ想い



白梅学園 創立80周年記念事業 募金のお願い

募集要項

- 名 称：白梅学園創立80周年記念事業募金
- 募集期間：2023年（令和5年）4月～2028年（令和10年）3月
- 実施事業：高等教育における教育・研究環境整備事業、中等教育・
幼児教育における教育環境整備事業、学園全体環境整備事業



白梅学園創立80周年記念ロゴ&キャッチコピーが決定

ロゴについては学内で投票を行い8の数字に、無限大のモチーフを重ね、白梅学園の未来をイメージしたものが選ばれました。キャッチコピーについては、白梅学園大学子ども学部家族・地域支援学科の学生による作品が選ばれました。

白梅の織りなす歴史、つなぐ想い



【趣意書】

学園諸学校の教育研究環境整備へのご支援を

皆様方にはいつも本学園をご支援いただきまして、まことにありがとうございます。

本学園は2022年3月に創立80周年を迎えました。学園はこの創立80周年を期に学園のさらなる飛躍を目指して記念事業を企画し、その為の資金の一部を皆様からご支援いただく為、2023年4月～2028年3月までの5年間で記念事業募金を行うことといたしました。

私たちは、学生・生徒・園児の可能性を信じ、一人ひとりに潜む力を最大限に伸ばしたいとの想いの下に、ヒューマンズムの精神を紡ぐソフトとハード両面での教育研究環境の改革を行っています。

この度の記念事業においては、ソフト面では全ての学校の教育内容の進化・発展を期すことであり、ハード面では、豊かな教育を実践する為の学びの環境を整備することです。大学・短期大学においては、校舎の新改築を行います。学園といたしましては、今後とも教育研究環境の整備・充実に力を入れ、広く社会を支える人材育成に貢献してまいります。

しかしながら、何といたってもその為の資金は十分ではありません。つきましては、記念事業募金の趣旨にご賛同いただきまして、皆様に特段のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

理事長 井原 徹



募金のお願い

2024年4月から学長に就任した小玉です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

白梅学園はその前身から数えますと100年近くの歴史を持ち、これまで、ヒューマンズムを建学の理念として掲げ、保育、教育、福祉の領域に数多くの人材とリーダーを輩出し、ゆるぎない地位を確保してまいりました。

そうした実績をふまえて、本学は2024年度より大学に新たに教育学科を新設し、白梅学園大学（子ども学科、子ども心理学科、家族・地域支援学科、教育学科）、白梅学園短期大学（保育科）、並びに大学院子ども学研究科（修士課程・博士課程）という陣容で新たなスタートをきりました。本学としてはこれを学科再編の第一弾として位置づけ、さらに今後、グリーン・トランスフォーメーション（GX）やデジタル・トランスフォーメーション（DX）を見据えた改革の第二弾を計画中です。社会の変革期に、それを先導し社会の価値観をアップデートする拠点大学としてさらなる発展を期す所存です。

日頃より本学の研究と教育に関心をお寄せくださる多くの皆さまに感謝を申し上げるとともに、さらなるご支援ご助力を仰ぎたくお願い申し上げます。

学長 小玉 重夫



これからも脈々と
受け継がれていくために

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は同窓会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

白梅学園は、2022年3月に創立80周年を迎えました。この間、先輩諸氏が築いてこられた誇りのある伝統(ヒューマンイズムの精神)は、後輩たちに脈々と受け継がれ、各界各層に送り出された有為な人材が25,000人を超えたことは同窓生にとって誇りとするところです。

同窓会は、「学園諸学校の教育研究環境整備」事業に協力することで対応努力して参りたいと思います。

つきましては出費多端の折とは存じますが、この趣旨にご賛同のうえ、本事業の目的達成のため格別のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

白梅学園大学・白梅学園短期大学同窓会
会長 増田 昭一



豊かな心と人間愛をいつまでも

白梅学園創立80周年、誠におめでとうございます。
今日まで白梅学園に携わられ、ご尽力されてきた全ての皆様へ心よりお祝い申し上げます。

これまでも、教育の現場で活躍するたくさんの人材を育て、送り出してきた白梅学園ですが、建学の理念であるヒューマンイズムの精神のもと、豊かな心と人間愛に満ちた教育者の育成は、これからの社会にとって必要不可欠であると考えます。

白梅学園大学・短期大学後援会は、学生の皆さんがより充実した学びを得られるよう、教育研究環境の整備に微力ながら全力で協力させて頂く所存です。

今後の白梅学園の益々のご発展をお祈り致しますと共に、多くの皆様方からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

白梅学園大学・白梅学園短期大学後援会
会長 白川 恭子

学園沿革

1942年 (昭和17年)	財団法人社会教育協会により前身の 東京家庭学園 創立 文京区(旧小石川区)指ヶ谷町	1989年 (平成元年)	短期大学専攻科福祉専攻(1年課程)を設置 心理技術科第1部を心理学科第1部と科名変更
1944年 (昭和19年)	戦時令により勤労女子青年錬成所に改組	1992年 (平成4年)	専攻科福祉専攻が学位授与機構認定専攻科となる
1945年 (昭和20年)	東京山手大空襲により建物施設の一切が焼失	1993年 (平成5年)	専攻科保育専攻が学位授与機構認定専攻科となる 各学科第2部を廃止
1946年 (昭和21年)	小石川丸山町の東亜修道院内に移転し東京家庭学園再開	1995年 (平成7年)	白梅学園短期大学教育福祉研究センター設置
1948年 (昭和23年)	杉並区馬橋に校地・校舎を得て移転	1998年 (平成10年)	短期大学福祉援助学科を設置 専攻科保育専攻2年課程を設置
1950年 (昭和25年)	白梅幼稚園 開園	2005年 (平成17年)	白梅学園大学 開学。子ども学部子ども学科設置
1953年 (昭和28年)	白梅保母学園 として新発足 同年12月に 学校法人白梅学園 となって独立	2006年 (平成18年)	白梅学園清修中学校／中高一貫部 開校 短期大学教養科廃止。専攻科保育専攻廃止
1955年 (昭和30年)	名称を白梅学園保育科と改称	2008年 (平成20年)	白梅学園大学大学院 開設 子ども学研究科子ども学専攻修士課程設置
1957年 (昭和32年)	白梅学園短期大学 となる 保育科第1部、第2部を設置	2009年 (平成21年)	専攻科福祉専攻廃止 白梅学園大学子ども学部発達臨床学科設置
1961年 (昭和36年)	心理技術科第1部、第2部と 専攻科保育専攻第1部、第2部を設置	2010年 (平成22年)	大学子ども学部家族・地域支援学科設置 白梅学園大学大学院子ども学研究科子ども学専攻博士課程設置 白梅学園大学地域交流センター設置
1963年 (昭和38年)	東京都小平市小川町に校地を得て、校舎建築に着工	2011年 (平成23年)	短期大学心理学科廃止
1964年 (昭和39年)	白梅学園高等学校 開校。小平校舎竣工 保育科第1部と心理技術科第1部を小平校舎に移転	2012年 (平成24年)	短期大学福祉援助学科廃止
1966年 (昭和41年)	短期大学教養科を設置	2013年 (平成25年)	小平市鈴木町に関連施設社会福祉法人小松福祉会 うめのき保育園開園
1969年 (昭和44年)	白梅幼稚園の小平園舎が竣工。杉並校舎より移転	2017年 (平成29年)	小平市花小金井に関連施設社会福祉法人小松福祉会 このはな保育園開園
1970年 (昭和45年)	杉並校舎を閉鎖、第2部を小平校舎に移して 学園の移転完了	2019年 (平成31年)	教育・福祉研究センター及び地域交流研究センターが 改組につき、子ども学研究所に統合
1981年 (昭和56年)	小平市花小金井に関連施設、社会福祉法人小松福祉会 白梅保育園開園	2023年 (令和5年)	白梅幼稚園を白梅学園大学附属白梅幼稚園と園名変更
1987年 (昭和62年)	短期大学専攻科保育専攻第1部(1年課程)を設置	2024年 (令和6年)	大学子ども学部教育学科、子ども心理学科設置



東京家庭学園の建物
(1942年頃)



短期大学設置認可及び幼稚園新園舎
(1957年頃)



小平校舎竣工当時
(1964年頃)



白梅幼稚園の小平園舎 竣工当時
(1969年頃)

募金要項

- 名 称 : 白梅学園創立80周年記念事業募金
- 実 施 事 業 : 高等教育における教育・研究環境整備事業、中等教育・幼児教育における教育環境整備事業、学園全体環境整備事業
- 対 象 校 : 白梅学園大学・白梅学園短期大学・白梅学園大学大学院・白梅学園高等学校・白梅学園清修中学校／中高一貫部・白梅学園大学附属白梅幼稚園
- 目 標 額 : 2億円
- 期 間 : 2023年4月～2028年3月(5年間)
- 一 口 金 額 : 【個人】一口5千円以上 【法人】一口5万円以上
(一口未満のご寄付につきましても有り難くご厚意をお受けいたします)
- 記念品贈呈 : 5万円以上ご寄付いただいた個人の方には記念品を謹呈
- 顕 彰 制 度 : 寄付者芳名録への掲載、寄付者銘板への刻銘(寄付額個人10万円以上、法人20万円以上)

お申込方法・ご入金方法

80周年記念事業募金 Web ページ

<https://www.shiraume.ac.jp>

学校法人白梅学園

検索

■ 個人の場合

1. 上記WebページまたはQRコードよりお手続きください。
クレジットカード・ペイジー・コンビニエンスストア払いをご利用いただけます。
2. 銀行振込をご希望の方
 - a. 学園発行の振込用紙がお手元にある場合は、そちらをご利用ください。
 - b. 振込用紙がお手元にない場合は、お手数ですが寄付申込書をご提出のうえ、下記口座へお振込みください。寄付申込書は、Webページよりダウンロードいただけます。
ご不明な点等ございましたら、募金室までお問い合わせください。

りそな銀行 小平支店 普通 0721179 (学) 白梅学園

■ 法人の場合

日本私立学校振興・共済事業団が取り扱う「受配者指定寄付金制度」と学校法人に直接寄付をする「特定公益増進法人に対する寄付金制度」の2種類がございます。
専用の寄付申込書がございますので、ご利用の場合には募金室までお問い合わせください。



税制上の優遇措置

■ 個人の場合

所得税

寄付者の方が、①「所得控除」または②「税額控除」のどちらかを選択して確定申告をすることにより、所得税の控除を受けることができます。

個人住民税

本学園への寄付金は、東京都または小平市にお住まいの方が個人住民税の寄付金税額控除を受けられます。

① 所得控除制度

寄付金(年間総所得の40%に相当する額が上限)が2千円(適用下限額)を超える場合は、その超えた金額がその年の課税所得金額から控除されます。

寄付金額-2,000円

= 所得控除額

② 税額控除制度

寄付金(年間総所得の40%に相当する額が上限)が2千円(適用下限額)を超える場合は、その超えた金額の40%に相当する額(その年の所得税額の25%に相当する額が上限)が所得税額から控除されます。

寄付金額-2,000円

× 40 % =

所得税控除額

■ 法人の場合

「受配者指定寄付金制度」 全額が損金に算入できます。手続きに必要な日本私立学校振興・共済事業団の「寄付金受領書」書類は事業団より発行され、本学園を経由して寄付者にお送りいたします。

「特定公益増進法人に対する寄付金制度」 一般寄付金の損金算入限度額に相当する金額までを、別枠として損金に算入できます。本学園からお送りする「寄付金領収書」と文部科学省発行の「特定公益増進法人証明書」の写しによって、法人税ご申告の際、手続きをしていただくことになります。

個人情報の取扱いについて

寄付金へのご協力に際して取得する個人情報は、厳重に管理・保護を行うとともに、募金事業に関わる業務に利用するほか、学園からのご連絡・ご案内等をお届ける目的で利用いたします。また、ご本人の承諾がない限り、利用目的以外に個人情報を使用することはありません。

お問い合わせ先

TEL 042-346-5614



白梅学園創立80周年記念事業募金室(財務課)
〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
FAX: 042-346-5616 e-mail: zaimu@shiraume.ac.jp

白梅学園 各学校の取り組み・近況

白梅学園短期大学 白梅学園大学 白梅学園大学大学院

■ 人と社会に寄り添う人材の育成

短期大学・大学・大学院では、子ども学を中心として、保育学、教育学、心理学、福祉学などの幅広い学問領域から子どもと人間を理解し、多様な価値や権利を尊重し、ヒューマンイズムの精神（人間尊重）に基づき、人々の幸せ（ウェルビーイング）を追求できる人材を育成しています。

■ 生涯学び続ける姿勢の醸成

教員が学生一人ひとりの学びのプロセスに積極的にに関わり、実践的コミュニケーションを図りながら、対話的に学修を展開できる環境を整備してまいります。それらの経験を通して、卒業後も課題解決を担う人材として活躍できる力と学び続ける姿勢を育んでいきます。



■ 地域と実践に根差した 教育研究活動と地域貢献

保育や教育、福祉の現場での実習や、子育て広場、地域ボランティアなどの地域連携活動を通して、子どもや社会を取り巻く環境の変化が激しい現代においても、人と人との関わり、人と向き合うことを大切にしながら、学びと研究活動を深め、地域に貢献してまいります。

白梅学園高等学校

■ ICT活用と生徒間の対話のある授業

生徒一人1台のiPad 端末と電子ボードを活用したわかりやすい授業を展開すると共に、「生徒間の対話」を通して思考力・表現力等の育成を図り、確かな学力を培っています。

■ 活発な学校行事・部活動

体育祭・合唱コンクール・白梅祭などの伝統的な学校行事にしっかりと取り組んでいます。また、全国大会等で活躍するハンドボール部・陸上競技部・吹奏楽部をはじめ、多くの生徒が部活動に所属しています。こうした活動を通して、豊かな人間性を育んでいます。

■ 生徒間・生徒教職員間の温かな人間関係

生徒たちは、温かで良好な人間関係の中で、過ごしています。教職員と生徒との距離も近く、さまざまな支援を得られることを実感する生徒たちが多いです。

■ 3つのコースで希望進路の実現

進学コース、選抜コース、特別選抜コースを用意し、生徒たちは自分に合った授業や進路指導を通して希望の実現に向けたサポートを得ています。

■ 将来社会貢献できる 女性の育成

これまでの卒業生同様、確かな学力と豊かな人間性を礎にして、将来社会で活躍できる女性を育てていきます。

これから先を見据えて変化を織り交ぜながら未来へのバトンをつないでまいります。



白梅の 織りなす歴史、 つなぐ想い

白梅学園大学附属 白梅幼稚園

■ 子どもの「未来が楽しみになる場所」

白梅幼稚園では子どもが主役です。子どもは自分で遊びを見つけ、工夫し、さまざまなことを発見します。仲間がいて、ひとりでできないことも誰かと成し遂げます。本園は、ひとり一人の可能性を最大限に伸ばします。

■ 先進的な幼児教育の実践と研究

本園は高円寺で創立されて70年以上、「子ども自ら遊ぶ」先進的な幼児教育の実践と研究を行っています。近年は、子どもの探究と協働をテーマとし、カリキュラム開発に取り組んでいます。2022年度には、論文「臨場感をかたちづくる——遊びが拓く電車の世界」によって、ソニー幼児教育支援プログラムの最優秀園を受賞しました。

預かり保育や2歳児クラスを実施し、親子参加の企画や各種講座を開催するなど、子育て支援にも積極的に取り組んでいます。今後も、遊びと生活における学び合いを通して、子どもが健やかに育っていくことを大切にまいります。



白梅学園清修中学校／中高一貫部

■ ひとり一人の才能・良さを発見し、大きく伸ばす教育

白梅学園の建学の精神はヒューマンイズムです。この歴史を受け継いだ清修中学校・中高一貫部の精神も、全ての生徒にそなわっている才能・良さを発見し、大きく伸ばすことです。

■ 本校の特色ある教育活動

清修も創立18年を経過しましたが、生徒たちが元気に勉学に励み、楽しい学校生活を送っている姿は、今も変わりません。さらに、自立した女性を育てる女子中高一貫教育、使いたくなる英語を目指した英語教育、日常の学習や生活でICTを活用するなどの学校の特色と強みを生かした教育を進めています。

ここ数年、全国高等学校鉄道模型コンテストで表彰を受け、マスコミ等で紹介されました。今後とも生徒たちへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

